

2/25 朝日

高齢者接種4月12日から

ワクチンまず5万人分発送

新型コロナウイルスのワクチン接種をめぐり、菅義偉首相は24日夜、市区町村で実施する高齢者向けについて4月12日に始める、と明らかにした。ただ、国内

第一弾の発送分は、人口の多い東京、神奈川、大阪の3都府県は2千人分、ほかの44都府県1千人分程度になると説明。ワクチン1瓶で6回接種できる注射器を発送できるかどうかは明言しなかった。どの市区町にどれだけ配分するかは、各都道府県に調整を任せることとした。

26日の週以降、「全国の市区町村に行き渡る数量」(河野氏)に増やし、接種を本格化させたいと説明したが、具体的な数量は示さなかつた。

優先的に接種が始まつた医療従事者向けが想定の3

70万人から500万人近くに増えており、その影響で高齢者向けに発送する量も減らざつとした。

河野氏は、高齢者向けを

会場の運営を確認する必要性を指摘した。

全国知事会などの地方3

都府県にそれぞれ計2万人分、44道府県に計1万人分ずつを発送する予定だとい

て、配送やシステム、接種

会場の運営を確認する必要性を指摘した。

内から3月1日に届くことも明らかにした。(坂本純也)

回論浮上 首相の方針表明の後、ワクチンの調整を担う河野太郎行政改革相が記者会見を

開き、細かな見通しを説明した。

▼4面=接種1